



# 7月の園だより

令和5年7月1日  
目黒区立中町保育園園長

蒸し暑くなり水の冷たさが気持ちよい季節となりました。いよいよ子どもたちが楽しみにしているプールや水遊びが始まります。先日、職員が子どもたちの午睡中にプールの組み立てをすると、目覚めた3歳児が園庭に設置されたプールをすぐに見つけ、テラス側の窓に集まり「大きいプールだー！」と嬉しそうでした。今年初めて園のプールに入る3歳児クラスの子どものワクワク感が伝わってきました。プールや水遊びは、子どもたちにとって夏の時期ならではの魅力的な活動です。一人ひとりが“こんなことをして遊んでみよう”と友達や保育士と楽しむ中で“おもしろかった”と満足し、自分の力を発揮しながら存分に遊べるようにしていきたいと思います。

今年も消防署の方に来ていただき、職員が心肺蘇生や AED を使用した救命救急法を学び再確認しました。熱中症対策や安全面に十分配慮しながら、子どもたちが健康で元気に過ごせるようにしていきたいと思います。ご家庭におかれましても子どもたちが十分に睡眠を取り、朝食を食べて登園できますよう、また準備をしていただく物や健康チェックの入力等のご協力をよろしくお願いいたします。

## 行事予定

プール開き（3・4・5歳児）  
水遊び開始（0・1・2歳児）  
七夕（全園児）  
身体計測  
避難訓練



## むし歯予防

3年ぶりに、幼児クラスで歯ブラシを使っての歯みがき指導をしました。歯の健康は、全身状態にも大きくかかわってきます。健康な歯で過ごすことができるように、乳幼児期から歯のケアを心がけましょう。むし歯予防では保護者による仕上げみがき大切です。

### 《子どもとのやくそく》

- おやつの時間と量を決めましょう
- 食べた後歯みがきをしよう
- 仕上げみがきは大人にしましょう



## 「おひさま縁日」

おひさま組の子どもたちが小さいクラスの友達を招いて縁日ごっこをしました。どんなお店にしようかと相談し、「風船すくい」「ボール投げ」「かき氷」に決めました。どのクラスの友達も楽しめるよう、ゲームのやり方を工夫して考え、喜んでもらえるように景品の折り紙やカードも用意し当日は大盛況。「いらっしゃいませ」と元気な声が響く中、たくさんのお客さんが来店し思い思いに好きなお店に行きゲームや、やり取りを楽しみました。盆踊りには、地域の親子も遊びに来てくれ、笑顔溢れる楽しい縁日になりました。



## 環境教室

「資源はごみじゃない」

清掃事務所の方から、油面公園でごみの分別について話を聞きました。スケルトンのごみ収集車に積み込み作業をさせると、子どもたちは真剣そのもので一生懸命仕事をしているようでした。環境教室後の子どもたちは、“燃やすごみ”“燃やさないごみ”を意識してゴミ箱へ分けて捨てています。また、家でもごみ収集車の仕組みやペットボトルの捨て方など資源ごみについて話したことを教えてくれました。





# 乳児クラスの遊びの様子

## もも組（0歳児）

子どもたちはペットボトルにビーズを入れた手作りのマラカスが大好きです。保育士が「おもちゃのチャチャチャ」を歌いながら、マラカスを振っていると、1人の子どもがそばに近寄ってきました。マラカスを手にすると、中のビーズを見たり、「おー」と声を出し、嬉しそうに一緒に振り始めます。すると、その様子を見ていた子どもも同じように歌に合わせて体を揺らし、近くにあるマラカスを手に持ち、一緒に振って楽しみ始めました。両手に持って振ってみたり、マラカス同士を打ち鳴らしたり、また、太鼓のように「トントン」とプラスチックの容器を叩くなど、それぞれの遊び方で楽しんでいました。これからも子どもたちが“楽しい”と思える玩具を用意し、やりとりしながら一緒にいろいろな遊びを楽しんでいきたいと思ひます。



## たんぽぽ組（1歳児）

幼児クラスの子どもたちがおやつに出た夏ミカンの種を園庭のプランターに植えて育てています。子どもたちと一緒に葉っぱをかき分けてみると、とても小さなアゲハ蝶の幼虫を見つけました。保育士が「ちょうちょの赤ちゃんだよ」と伝えると「いた、いた！」と幼虫を見つけ喜んでいました。その姿を見た子どもも興味を持ってやって来て「どこ？」と探し始めると、「ここよ」と見つけた幼虫を教えてくださいました。ある日、おひさま組に大きくなったあお虫を見せてもらいました。「大きいね」「ちっちゃいね」と比べてみたり「一緒？」と見た目が違う幼虫を見て驚いていました。他にもアリ、ダンゴ虫、小石や葉っぱなど、様々な自然物に触れながら、見つけた喜びを保育士や友達と伝え合い、園庭遊びを楽しんでいます。



## ちゅうりっぷ組（2歳児）

保育士が砂場に水を入れていくと大きな池が出来ました。すると気付いた子どもが池に足を入れ、その場で足踏みを始めました。友達の姿を見て次第に子どもたちが集まり、一緒に足踏みやジャンプをして足裏から伝わる泥の感触や、ピチャピチャと跳ねる泥を思い思いに楽しんでいます。一方で泥の池に興味はあるけれど1人で入るのはドキドキしてしまう子どももいます。「先生と一緒に入ってみる？」と声をかけ、その子どものペースに合わせてながら池に足を入れると「泥が柔らかくて気持ち良いね」「足が冷たいね」と、池に手を入れたり、水の冷たさに触れる姿が見られました。最後は泥だらけになった姿を見て「お洋服もどろんこだね」「見て見て、お顔にもついちゃった」と互いに笑顔を浮かべていました。保育士も一緒に遊びながら、子どもたち一人ひとりの思いに寄り添っていきたく思ひます。

